

## 主催者挨拶

(2005年1月29日)

いわきビジネスアイデア・プランコンテスト 2004 (IBPC2004) の実行委員会を代表しまして、一言ご挨拶をします。

本コンテストは、今回が、第4回となります。ご案内の通り、実行委員会は、多くの団体で構成されています。後援や協賛もたくさんいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

コンテストの目標は、次世代の産業群・企業群を生み出す種子を見つけ、起業家精神の喚起と育成、新規開業者や起業家(アントレプレナー)の輩出です。

応募数は、プラン部門が13件、アイデア部門が39件です。本日の公開審査には、一次審査を通過した5プランの応募者が参加しております。この後、プレゼンテーションを行うことになっております。

今回から、審査は、審査委員ではなく、目利き委員が行います。プランとアイデアを、事業と経営の視点で目利きします。単なる審査ではなく、提案の事業が成立するのかどうかを目利きします。目利き委員一人ひとりが、今から行われるプレゼンテーションに、真剣勝負で臨みます。

コンテストですので、プラン部門では、最優秀賞・優秀賞が、アイデア部門では、グッドアイデア賞・ピカリアイディア賞を選びます。しかし、実行委員会では、入賞した応募も、惜しくも入賞を逃した応募も、事業を行う意思が強いものは、コンテスト終了後も、継続して支援をする予定です。

支援を継続することが、実行委員会・目利き委員会の役割でもあります。

応募がありましたプランやアイデアを事業化し、いわきを豊かで楽しくすることができれば、大変嬉しいことです。

いわきビジネスアイデア・プランコンテスト 2004 (IBPC2004) に対する、協力と参加に感謝申し上げます。